

政策コメント報告(第2回)(意見照会期間:2016年10月31日~11月11日)

| | | |
|--|---|-----------------|
| 分野: | その他 | |
| 氏名: | 武輪俊彦 | 武輪水産株式会社代表取締役社長 |
| 質問事項 | 記述式回答 | |
| 予測される経済・社会的な構造変化(2030年) | (300字以内で回答してください) | |
| (1)① 2030年には、各分野において、どういった経済・社会的な構造変化が予測されるでしょうか。 | (水産資源について)かつて日本の漁船は海外での操業により多くの水産物を獲得してきたが、二百海里規制以降次第に減少してきている。そればかりか日本近海の漁業生産も、日本の領海近くの公海上で中国や台湾船の大漁漁獲により影響を受けてきている。 | |
| 目指す経済・社会の姿(2030年) | (200字以内で回答してください) | |
| (1)② また、そうした構造変化を踏まえ、我が国が目指す経済・社会の姿はどうあるべきでしょうか。 | 関係国で水産資源を維持するために協定を締結・遵守するとともに、国内では安定的な水産物を供給するために養殖を推進する。 | |
| 今後取り組むべき構造改革(2016年~2030年) | (300字以内で回答してください) | |
| (2) 上記(1)で挙げられた経済・社会の姿を実現するためには、足元から今後に向けてどのような構造改革に取り組むべきとお考えでしょうか。基本的な考え方や具体的な方法がございましたらご記載ください。 | 養殖に関わる漁業権について、新規参入者も取得しやすくするとともに、その支援策を拡充する。 | |